

②活動の流れ(5年生)

活動の流れ【R6】

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>小単元名「農作物を育てよう」 (25時間)</p> <p>【小単元の目標】 お米を栽培しよう。</p> <p>【課題設定】 ○「食」というテーマで自分たちが育てたい農作物を考える。</p> <p>【情報収集】 ○お米の栽培方法をインターネットや本を見て育て方を調べる。</p> <p>【整理・分析】 ○調べたことから、どの時期にそれを行うべきか整理・分析する。</p> <p>【まとめ・表現】 調べたことを実践する。</p>				<p>小単元名「農作物を育てよう」 (25時間)</p> <p>【小単元の目標】 自分たちの決めた野菜を栽培しよう。</p> <p>【課題設定】 ○自分たちが育てたい野菜を考える。</p> <p>【情報収集】 ○野菜の栽培方法をインターネットや本、インタビューを通じて育て方を調べる。</p> <p>【整理・分析】 ○調べたことから、どの時期にそれを行うべきか整理・分析する。</p> <p>【まとめ・表現】 ○調べたことを実践する。</p>				<p>小単元名「埼玉の野菜を発信しよう」 (20時間)</p> <p>【小単元の目標】 埼玉県野菜の魅力伝えよう。</p> <p>【課題設定】 ○埼玉県野菜の魅力の伝え方を考える。</p> <p>【情報収集】 ○様々な調理方法を試す。</p> <p>【整理・分析】 ○野菜に合う調理方法を選ぶ。</p> <p>【まとめ・表現】 ○レシピにまとめ、学校や地域に配布する。</p>		
<p>【地域人材・関係機関】 米地区の各商店、公共施設</p>										

活動の流れ【R7】(☆活用するシンキングツール・※横断する教科と単元名・◎考えられる表現の方法)

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<p>小単元名「菜ファーム開園！～二十日大根を育てよう～」 (25時間)</p>				<p>小単元名「農家さんと共に野菜を育てよう」 (25時間)</p>				<p>小単元名「食にせまるわたしたちの挑戦！」 (20時間)</p>			
<p>【小単元の目標】 ○二十日大根の育て方を一から自分たちで調べたり、育てたりすることを通して、野菜を育てることの難しさに気付くことができる。</p>				<p>【小単元の目標】 ○地域の農家さんにアドバイスをもらいながら野菜を育てる活動を通して、農家さんの思いに気付くことができる。</p>				<p>【小単元の目標】 ○農作物の魅力を発信するために、自分から質問したり、調べたりすることを通して、相手意識をもったまとめ方を考え、食べ物のありがたみを感じ、育てている人の気持ちを理解することができる。</p>			
<p>【課題設定】 ○育てる野菜を決める。 【情報収集】 ○二十日大根の育て方を調べる。 ○地域の農家さんから、野菜をよく育てるための話を聞いたり、インタビューしたりする。 ※理科「植物の発芽や成長」 【整理・分析】 ○二十日大根がよく育つための育て方を実践する。 ○二十日大根が育った、育たなかった原因を分析する。 ☆ウェビング ※社会「暮らしを支える食料生産」・道徳「ひとよみ十年」 【まとめ・表現】 ○二十日大根を育てたことを通して、気付いたことや今後に生かしたいことをまとめる。 ☆ウェビング ※国語「目的に応じて引用するとき」 ◎スライド・横断紙</p>				<p>【課題設定】 ○興味をもった野菜を育てる。 【情報収集】 ○自分たちの野菜がよく育つために、地域の農家さんからインタビューしたり、グループで話し合ったり、調べたりする。 ※理科「花から実へ」 社会「これからの食糧生産とわたしたち」 【整理・分析】 ○得られた情報を分析し、必要な情報を追加で収集する。 ☆ウェビング 【まとめ・表現】 ○集めた情報や育てた野菜のことについて、日記やポスターリーとしてまとめる。 ※国語「文章に説得力をもたせるためには」 ◎ポスター、新聞、スライド、野菜日記</p>				<p>【課題設定】 ○野菜を育てることを通して得た成果や課題等を振り返る。 ○「食」について、感じた自分の思いを考え、計画を立てる。 ※家庭科「食べて元気に」 【情報収集】 ○どのような発信方法があるか調べる。 ○これまでの活動の中から、伝えたいことを洗い出す。 【整理・分析】 ○伝えたいことを整理して、適した伝え方について考える。 【まとめ・表現】 ○保護者や他学年、地域の方を対象に農作物の魅力を発信する。 ※理科「受けつがれる生命」 ◎野菜のPR動画制作、レシピづくり、野菜育て方ガイドブックなど</p>			
<p>【地域人材・関係機関】市野進先生（地域で野菜を育てている方）、並木衛先生（地域の農家さん）、松原先生（野菜を育てることに詳しいココフレの先生）、細沼先生（菜小栄養教諭）、調理員さん</p>											
<p>小単元①で目指す子供たちの姿 野菜を育てることの難しさに気付き、自分たちの育て方を振り返り、次に育てる野菜に生かそうとしている。</p>				<p>小単元②で目指す子供たちの姿 農家さんの思いに気付き、農作物を育てている人の知恵や経験のすごさを周りに発信したいという気持ちを高めている。</p>				<p>小単元③で目指す子供たちの姿 農家さんをはじめ、色々な人の働きに支えられて生きていることに気付き、自分たちにできることで農作物の魅力を発信し、これから食べ物を大切にしていきたいという気持ちを高めている。</p>			

